

会計人の教養

2

2017 FEBRUARY



学校法人高橋学園

専門学校

東京CPA会計学院熊本校

朝礼実習の進め方

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">進行</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 15度の黙礼</p> <p>④ 「開始5秒前です。姿勢を正してください。」</p> <p>④ 元の位置に素早く戻る</p> <p style="text-align: center;">＝5秒後＝</p> <p>⑤ 15度の黙礼</p> <p>⑥ 「東京CPA会計学院、〇〇△△（フルネーム）、進行いたします。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「〇月〇日〇曜日、ただいまより朝礼を始めます。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「朝の挨拶、〇〇社長！」</p> <p>⑦ 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">社長</div> </div>	<p>社長役：① 素早く一步前（輪の中央）に出る。</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 「みなさん！」</p> <p>全 員： 「おはようございます（30度の礼）」</p> <p>社長役：④ 「今日のスピーチ」</p> <p>全 員：⑤ 15度の黙礼</p> <p>社長役： 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">教養長</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 「挨拶実習、リーダー〇〇さん！」</p> <p>挨拶長：① 「はい！」</p> <p>② 「挨拶実習を始めます。お願いします！（30度の礼）」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>挨拶長：① 「おはようございます！」</p> <p style="padding-left: 20px;">② 「おねがいします！」</p> <p style="padding-left: 20px;">③ 「ありがとうございました」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 「失礼します」</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤ 「以上で挨拶実習を終わります！」</p> <p style="padding-left: 40px;">ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>全 員：「ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>挨拶長：元の位置に素早く戻る</p>

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」</p> <p>教養長：①「はい！」</p> <p>進行役：元の位置に素早く戻る</p> <p>教養長：「お願いします！」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>教養長：① 全員の体制が整ったのを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">②「〇ページをお開き下さい」</p> <p style="padding-left: 20px;">③「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」</p> <p style="padding-left: 40px;">★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る</p> <p style="padding-left: 40px;">★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む</p> <p style="padding-left: 40px;">★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」</p> <p style="padding-left: 20px;">④ 全員が落ち着いたことを確認</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤「今日の心がけを斉唱いたしましょう」</p> <p style="padding-left: 40px;">「今日の心がけ！」</p> <p>全 員：「〇〇〇をしましょう！」</p> <p>教養長：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>教養長：元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る</p> <p style="padding-left: 20px;">②「以上で朝礼を終わります。」</p> <p style="padding-left: 40px;">「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>進行役：「解散します！解散！」</p> <p>全 員：「はい！」</p>

27	25	24	23	22	21	14	13	9	8	7	6	4	3	2	1
月	土	金	木	水	火	火	月	木	水	火	月	土	金	木	水
雷門	働き方革命	陰の応援団長	就職	復興城主	平成	バレンタイン	旧正月	結婚	コート	この世界の片隅に	ピコ太郎	常識にとらわれない	恵方巻き	節分	真冬の楽しみ方
16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

自分と比べて他人がまってるのは
恥ではない。
だが今年の自分が一年前より
まってるないのは、明らかな恥辱だ。

学校掲示「今日の言葉 2015年3月31日分」より
※「今日の言葉」とは、名言・格言を自由に書くコーナーです。

2017 FEBRUARY 平成29年 如月[きさらぎ]

第3巻2号(通算20号)

今月の目標

※ここに、今月の目標を記入しましょう。

これはギリシヤ神話のお話です。自分の力をひけらかすオリオンを見かねた女神は、オリオンの足元にサソリを置き、オリオンは毒針に刺され、死んでしまいました。その後、オリオンもサソリも星座として空に上げられましたが、今でもオリオンは、さそり座が東の空に昇り始めると、逃げるように西の空に沈んでいきます。

星座には、このような神話がたくさんあります。

そして、いろいろな神話があるたくさん星座を見られるのは、冬の季節の醍醐味ではないでしょうか。

けれども、この時期になると冬の大將軍と呼ばれるほどの寒波が押し寄せます。外に出るのも億劫で、炬燵から出られないという人も多いでしょう。

しかし、そのような時こそ厚着をして、外に出て星を眺めて見て下さい。きれいな星空が辺り一面に広がり、冬の星座を楽しむことができますと思います。

今日の心がけ◆外に出て星座を楽しみましょう。

節分の日、毎年2月3日だと思われている方がほとんどではないでしょうか。

実は、節分の日は2月2日や2月4日になったりすることがあるのです。ちなみに、少し先の話にはなりますが2021年の節分が2月2日となります。

そもそも、節分とは「季節の分かれ目」という意味があり、季節が変わる前日のことをいいます。この季節とは「立春」、「立夏」、「立秋」、「立冬」のことです。

本来は、年に4回節分の日があることになるのです。しかし、現在は節分といえば「立春」の前日のみを指すようになりました。

今では節分の日、日本に根強い文化を残し、「豆まき」を行ったり、「恵方巻き」を食べたりなど、私達の生活において欠かせないものとなっています。

今日の心がけ◆「立春の前日が節分」と覚えましょう。

恵方巻き

節分と聞くと、豆まきを考える方も多いと思いますが、近年では、恵方巻きを食べる方も増えてきました。

「恵方」とは、おんみょうどう陰陽道で定められたその年で、もつとも縁起が良いとされる方角のことをいい、その方角に向かって太巻きを食べることで、新春に福を巻き込むと言われている。

この風習は、昔、関西の商人が、新春に七福神にちなんで、七種類の具材の入った太巻き寿司を食べることで、しょうばいはんじょう商売繁盛、むびょうそくさい無病息災を願ったというのが由来とされています。また、太巻きが、鬼の金棒に見え、それを食べることで、鬼退治、邪を祓うとも言われています。

人々は、昔から健康と幸せを願い、日々を懸命に生きること、発展した文明を築いてきました。このような、幸福を願う思いには、何か特別な力が宿っているのかもしれない。

今年の恵方は、北北西です。みなさんも、新春の幸福と健康を願って、恵方巻きを食べてみてはいかがでしょう。

今日の心がけ◆幸福を願いましょう。

CD・DVDのレンタルで日本最大のチェーンを展開するカルチュア・コンビニエンス・クラブ（CCC）。そのCCCの社長である、増田宗昭ますだむねあきさんは、自らの仕事はレンタル業ではなく企画業だと言います。

例えば、12年前にいち早く始めたTポイントカード事業では、カードを使用したお客様の購買データを収集し、性別や年代、売れる物の傾向を分析して、企業に販売する仕組みを構築し、提供しました。

増田さんは、「かつての経営は、同じものをとにかく早くたくさん作る。それが競争戦略で成長だった。しかし、過去の延長線上には未来はない。新しい未来のために基盤を作るのが企画会社であり、それを実践しないと生き残れない。」と仰っています。

現代は、消費者の価値観が多様化し、求める物が目まぐるしく変化する時代です。その変化に対応しなければ生き残れません。

その危機感が、今のCCCという大企業を生み出したのです。

今日の心がけ◆変化に対応し、常識にとらわれないようにしましょう。

ピ、ピ、ピコっ、ピコ太郎〜♪。ピコっ。

昨年、一躍時の人となったピコ太郎さんのPPAPを聞いたことのない人はいないでしょう。

PPAPは、プロデューサーである古坂大魔王こさかだいまおうが、約十萬円の自腹を切って制作したもの

です。8月25日にその動画をYouTubeに投稿、その後、古坂氏と親しいサイレント サイレン Silent Siren、

トリプルエー AAA、リッ LiSAサらにより拡散されました。

あのジャスティン・ビーバーも閲覧しており、ジャスティンがお気に入り動画として紹介したところ、米国の音楽チャート誌「ビルボード」の10月19日付シングルランキングで、77位にランクインしました。

ただ、日本のタレントが作ったものが、こうして短期間で世界的に広まるというのはかなり珍しいことといえるでしょう。しかし、自腹を切ってまで制作するという行動力がなければ、このようなことは起こらなかつたはずで、自腹を切ってまで実行するという、そのような行動力のある人になっていきたいものですね。

今日の心がけ◆行動力のある人になりましょう。

昭和20年、広島・呉^{くれ}。わたしはここで生きている。

「この世界の片隅に」は、2016年11月12日より公開されているアニメーション映画です。この映画は、「漫画アクション」（双葉社）で連載された、この史代^{ふみよ}氏の漫画を原作としています。

物語は、おっとりとした性格の主人公、「北條^{ほうちょう}すず」を中心として、戦時中の広島・呉に生きる人たちの日常が描かれています。当時の呉は、日本海軍の一大拠点であり、軍港の町として栄えていました。

その町で、主人公のすずさんは、様々な工夫をしながら、生きていきます。その中で印象的なのが、戦時中の節米^{せつまい}手段の一つ「楠公飯^{なんこうめし}」です。これは、鎌倉時代の武将、楠木正成^{まさしげ}の考案した米の炊き方で、普通に炊くよりも、二倍近い量が炊き上がります。ただ、その味は、「確かに増えるけどまずい」と各所の文献で酷評^{こくひやう}されたほどでした。

今の時代では、工夫をしなくても、生きることは簡単です。しかし、工夫することで、もっと充実した生き方ができるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆日常生活の中で、工夫しましょう。

私たちの防寒アイテムの一つとして、コートがあります。

コートは、「外套^{がいとう}」と呼ばれる、防寒などのために着る外衣^{がいい}の一つです。海外では、オーバーコートと呼ばれており、日本では、オーバー、若しくはコートと略されます。近年は、個性的なファッションをする人も多く、それに合わせて、コートの種類も多
く存在します。

例えば、トレンチコートやチェスターコート、Pコートなど、男性用と女性用を合わせる
と、約15種類にも及びます。

防寒という一つの側面からだけでなく、ファッションという別の側面から捉えること
で、楽しむことができます。自分のファッションに、関心を持ってみるのもい
いかもしれませんね。

今日の心がけ◆ファッションを楽しみましょう。

近年、平均初婚年齢の高くなっていく「晩婚化^{ばんこんか}」や、生涯結婚しない「非婚・未婚化」が社会問題となっており、20代前半で結婚したいと考える若者が激減しています。

結婚するためには、お金・出会い・価値観など様々な困難を乗り越えなければなりません。しかし、そこまでして結婚したいとは思わない、という若者が増え続けています。結婚は、人生における最大の決断であるとよく耳にします。

ノースウェスタン大学のイライ・フィンケル氏は、「結婚により人間的に成長することを研究で明らかにしました。

結婚は、社会的責任を持つことになります。結婚して家族ができると、人生で初めて守るべき存在ができます。

そして今まで家族に守られ、支えられてきたことによりやく気付くことができ、感謝の気持ちが湧き出てくると思います。結婚に対する考え方をいま一度振り返る必要があるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆結婚に対する考え方を振り返ってみましょう。

お正月といえば、新暦の1月1日に行うのが一般的ではありますが、一部の地域では旧暦の1月1日に行うことがあります。それが沖縄の旧正月です。今年の旧正月は、1月28日(土)、来年は2月16日(金)となっています。

沖縄では、旧正月のことを「ソーグワチ」と呼び、縁起が良いと言われる昆布や豚肉、田芋で作られた料理を作り、ソーキ汁やお酒などと一緒に仏壇へ供えます。旧正月は、清明祭シミーや旧盆に並ぶ三大行事の一つとなっており、どれも先祖の事を思って行われる行事です。

昔は太陰太陽暦、いわゆる旧暦を使って人々は生活していました。しかし、時代が進むにつれ旧暦から現在の新暦に変わりました。

沖縄では、自分が生まれて育ってきたことを、全てはご先祖様のお陰であるという祖先そせん崇拝すうはいという考え方があり、感謝を込めてご先祖様が過ごしてきた旧暦でお祝いをします。

時代の流れとともにお正月の様子も変わってきていますが、沖縄の方々のように、ご先祖様に対する感謝の気持ちを、変わることなく持ち続けることは大切なことだと思います。

今日の心がけ◆ご先祖様に感謝しましょう。

女性が男性に対して、親愛の情をこめて、チョコレートを贈るという「日本型バレンタインデー」は、1970年代後半ごろに誕生したと言われています。

しかし、現在では、贈るものはチョコレートに限らず、クッキーやケーキなど様々です。また、贈る相手も友人や職場の上司、男性が女性に贈る「逆チョコ」など、色々なバレンタインデーの形が出てきています。

それでも、共通しているのは、相手に喜んでほしい、自分の気持ちを伝えたいという思いが込められていることだと思います。

これからも、お付き合いしたい人や、日頃の感謝を伝えたい人に、気持ちを伝えるには絶好の日なので、何か贈ってみましょう。

そして、もらった方も、ホワイトデーにしっかりとお返しをしてください。

今日の心がけ◆自分の気持ちを素直に伝えましょう。

私達が生まれ育ってきた平成。一つ一つ振り返ると、たくさんの思い出があるのではないのでしょうか。その平成が幕を閉じようとしています。

きっかけは、現天皇陛下の譲位の希望でした。天皇陛下が生前退位をされる理由として、高齢であること、体力的に限界がきていることもあり、憲法に定められた象徴としての務めを十分に果たすことが難しいとお考えになられているからです。

平成が始まったのは、1989年1月8日からで、1月7日に昭和天皇が崩御されたためです。元号を決める際は、重々しい雰囲気の中で慌ただしく決められたと言われています。

平成という元号は、国外、天地ともに平和が達成されるという願いが込められています。

親しみがある元号が変わることに、少し寂しさを感じますが、新しい元号を楽しみに待ちましよう。そして、平成でいられる時間は少ないかもしれませんが、思い残すことなく過ごしましよう。

今日の心がけ◆平成を過すに誇りを持ちましよう。

熊本地震から、約10か月が経とうとしています。今も、熊本では地震による被害の復興に追われています。

中でも、熊本城は、多大な被害を受け、復興に約20年の歳月と600億円以上もの費用がかかるといわれています。

しかし、そのような中にも熊本城の早期復興を望む人が、数多く存在します。そこで、熊本城の早期復興を望む人々の声により「復興城主」という制度が設けられました。

「復興城主」とは、一回に一万円の寄付を行った方を「復興城主」とし、「城主証」をもらうことができ、デジタル芳名板ほうめいに名前を登録できるといいう制度です。また、この制度により「城主手形」を特典として受け取ることができ、城主手形は熊本市が管理する施設へ無料で入場することができます。

この復興城主は、2016年の流行語大賞で選考委員特別賞を受賞し、ロンドンブーツの田村淳たむらあつしさんが、復興城主として寄付したことをSNSで投稿し、注目を集めています。是非、みなさんも、就職し給与をもらうようになったら復興城主になってみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆復興城主になってみましょう。

就職は、私達学生にとって、人生のターニングポイントです。

その就職活動がいよいよ来月から始まります。今までは簿記の学びに集中してきましたが、これからは就職活動も視野に入れなければなりません。その時に必要なことは、自己分析だと思えます。

また、数多くの企業がある中で、一つの企業を選ばなければなりません。行きたい企業を決めるためには、自分がどんな人間かを知り、学びたいこと・やりたいことをしっかりと考えることが大切です。

単に、「好き」や「憧れ」という安易な気持ちで企業選びを行えば、自分の理想と現実とのギャップに苦しむ原因にもなってしまいます。企業を選ぶ際には、企業理念や事業内容などをしっかりと調べ、自分が本当にその企業で働きたいのかを考えなければいけません。

人生の大半を占めるのは仕事です。自分の人生を左右する決断なので、失敗や後悔がないように、選択していききたいですね。

今日の心がけ◆真剣に企業選択をしましょう。

成人式を目前に控えたCさんに、ある一通の手紙が届きました。それは、Cさんの小学校4年生の担任のO先生からのものでした。

封筒の中に入っていたのは、10年前のクラス全員分の自己紹介が書かれた、懐かしい学級通信と集合写真、そして、Cさんの成人を祝う内容の手紙でした。

その手紙の締めにかかれた「陰ながらずっと応援しています」の一文にCさんは、O先生が別れ際に言っていた言葉を思い出しました。

「私は、いつだってクラスの皆を陰で応援しています。私は、皆さんの陰の応援団長です」

遠く離れていても、常に自分を応援してくれている存在に改めて気がついたCさんは、その存在に感謝し、自身も誰かの陰の応援団長になりたいと強く思いました。

もしかしたら、人それぞれCさんのように、普段は気づかなくても陰で応援してくれる応援団長がいるかもしれませんね。

今日の心がけ◆応援してくれる人に感謝しましょう。

深刻な残業を抱えるITシステム業界では、過重労働で心身を害する従業員が後を絶たず、最近では電通でんつうの社員の自殺がメディアに取り上げられ、多数の企業で残業を減らす等の働き方革命が起きています。

しかし、同じIT業界であつても残業が殆ど無い会社もあります。ITシステムの開発を手掛ける株SCSKです。

同社の相談役である中井戸信英氏なかいどのぶひでは、シリコンバレーでの生産性の高い働き方を目の当たりにした経験から「残業を減らせば残業を出す」という逆転の発想で、就任前と比べ残業時間の半減に成功し、社員全員の有給休暇（年20日）も達成させました。

また、仲井戸氏は、「一流の会社になるためには、社員の健康が欠かせないこと」を訴える一方で、「働く時間が減れば、売上も減る」という懸念を払拭ふっしょくするような結果を出しています。

私達も固定観念に捉われず、様々なことに対して意識改革をしていく勇氣を持ちたいですね。

今日の心がけ◆自分の中で革命を起こしましょう。

雷門は、941年安房国あわのくにの太守たいしゆであった平公雅たいらのきみまさが、新天地での天下泰平てんかたいへいと五穀豊穰ごこくほうじようを祈願きがんして造られたとされています。

雷門の呼称は、江戸時代の川柳せんりゆうに初めて登場します。山門さんもんはしばしば火災により消失しており、江戸時代だけでも2度も建て替えられています。

1960年、現パナソニックの創設者、松下幸之助が病氣きだったところに浅草寺に拝みしました。その後、治ったためそのお礼として門及び大提灯だいちようちんを寄進きしんし、現在の雷門が成立しました。

2003年に江戸開府400年を記念して改めて新調された際、提灯は従来のものより一回り大きくなり、直径3.3 m、高さ3.9 m、重さ700 kgとなりました。2013年に新調された大提灯で5基目となります。

東京では、都会というだけでなく、歴史的建造物も味わえるため、一度訪れてみてはいかがでしょう。

今日の心がけ◆東京に行ってみましょう。